

第18期 第1回 砂防公開講座 実施報告 《浅間山を知り 浅間山と生きる》

平成26年6月25日（水）実施 ～参加者23名～

砂防公開講座とは、土砂災害・地すべり・火山災害から暮らしを守る砂防事業を肌で感じ、知識と理解を深めて、防災について学ぶ講座です。

室内講義「事務所の概要と浅間山の砂防について」 （場所：長野県佐久市役所浅科支所）

今回の室内講義は、利根川水系砂防ボランティア協会の方を講師にお迎えしました。

浅間山をはじめとする火山噴火災害の歴史や近年の事例を紹介しながら、「災害時には、防災的な目と耳を研ぎ澄まして、変化する情報をキャッチし、適切な判断による、早めの避難が重要」とのお話がありました。



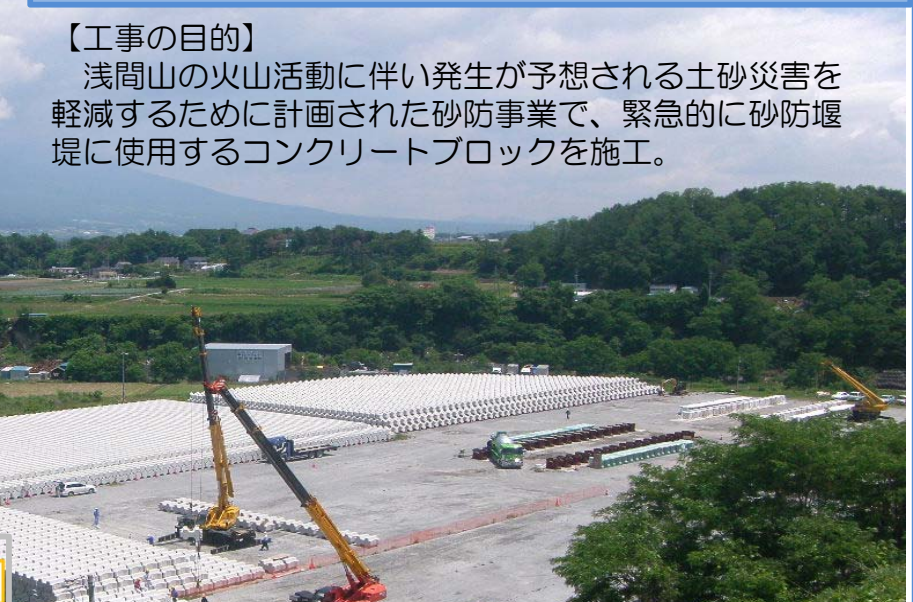
厚い雲に覆われ残念ながら「浅間山」は見えず・・・



野外学習「緊急用ブロック製作・据付工事現場」見学 （場所：長野県佐久市御馬寄地先）

【工事の目的】

浅間山の火山活動に伴い発生が予想される土砂災害を軽減するために計画された砂防事業で、緊急的に砂防堰堤に使用するコンクリートブロックを施工。



受講生の声 （アンケート より抜粋）

- ・砂防事業は、地震・水害・山崩れなど人力ではどうにもならない事案に対処せねばならない、地味ではあるが重要な仕事であると感じる。
- ・ブロック製作現場の見学では、緊急時に対応したものであることに納得できた。
- ・火山噴火に対する予防は無防備、融雪型泥流について啓蒙をすべき。